

平成20年度 高知大学公開講座

「自然と文化」ご案内

主 催 高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

共 催 中土佐町教育委員会

- 日 時 第1回 7月 2日(水) 午後7:15~9:00
第2回 7月 9日(水) 午後7:30~9:00
第3回 7月16日(水) 午後7:30~9:00
第4回 7月23日(水) 午後7:30~9:00
第5回 7月30日(水) 午後7:30~9:15
- 場 所 第1~3回「中土佐町大野見保健福祉センター」、第4~5回「中土佐町民交流会館」
*1回~3回目と4回~5回目で会場が異なります。ご注意ください。

講座タイトルと講師

第1回 もう一度水田農業を考える

農学部 農学科 流域環境工学 准教授 さとう 佐藤 たいいちろう 泰一郎

第2回 つながり・学び・共に育つ子どもと親

医学部 看護学科 臨床看護学 教授 おはら 尾原 きみこ 喜美子

第3回 医療を受けるにあたっての心構え ~ 賢い患者になるために ~

医学部 看護学科 基礎看護学 教授 さかもと 坂本 まさよ 雅代

第4回 黒潮の恵みって本当? ~ 海の砂漠とよばれる黒潮の正体 ~

教育担当理事・副学長 ふかみ 深見 きみお 公雄

第5回 津波の化石から過去の南海地震を探る

理学部 応用理学科 災害科学 准教授 まつおか 松岡 ひろみ 裕美

募集人員 30人(*受講料は無料です)

受講される方にはテキストを頒布し、3回以上出席された方には修了証書を授与します。

お申し込み 中土佐町教育委員会(TEL0889-57-2023)へ、6月25日(水)までにお申し込みください。(当日の参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みください。)

少しだけ、高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門の商業

高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門では、いろいろな学習の場を提供しています。なんでも、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先: 高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

TEL: 088-844-8555 FAX: 088-844-8556

E-mail: sakamoto@cc.kochi-u.ac.jp (坂本)

* ホームページも見てね URLは <http://www.kochi-u.ac.jp/~wwlife/index.html>

講座題目・講師一覧

月 日	時間	講座の内容と講師
	19:15 ～ 19:30	開 講 式
7月 2日(水)	19:30 ～ 21:00	<p>もう一度水田農業を考える 佐藤 泰一郎</p> <p>食糧自給率の低下が深刻な問題となっている日本において、コメは十分な供給がされている。コメは、主に水田、農業によって生産されている。日本における水田農業は、約3000年前に伝来し、今日までコメが作り続けられている。これは、水田農業が単に消費要求を満たすばかりでなく、耕作技術として持続可能性を有しているからである。そこで、日本における水田農業が発展してきた理由について、生産技術の歴史的観点から解説する。また、水田農業の特徴である水利用について、水田の水消費と供給するための水資源について解説する。さらに、水田農業を営むことによって、流域の環境が保全される効果について水田の効果を評価する。そして、水田農業の未来について、食料の自給率向上のために農地の汎用化を含めた計画的な生産体系の確立について解説する。</p>
7月 9日(水)	19:30 ～ 21:00	<p>つながり・学び・共に育つ子どもと親 尾原 喜美子</p> <p>子どもは色々な人との出会いにより大きく成長していきます。すべての親たちは子どもが心身ともに健康で自律した社会人となり、家族を形成し愛し愛される人になるように願っています。子どもの成長・発達はその親だけでなく地球上の人々すべての課題としてみんなで考えていくことが大切です。子どもや親子関係は、社会の変化や少子高齢社会の影響を強く受け多くの課題を生み出しています。ここでは現代社会での子どもの現状と子どもの生きる力を支える関わりについて考えていきたいと思えます。</p>
7月16日(水)	19:30 ～ 21:00	<p>医療を受けるにあたっての心構え～賢い患者になるために～ 坂本 雅代</p> <p>医療技術の進歩につれ医療を取巻くあり方が変化をしています。病気になり治療法などの選択は、以前ですと医療者にお任せをしていればよい時代でした。しかし、今は患者さんご自身が望む治療などについて、十分な説明を受け理解し納得して選択をしていく、自己決定をする時代に変化をしています。</p> <p>よりよい健康状態をめざすには、医療を提供する医療者側と、医療を受ける患者さん側が、お互いに信頼関係を築き、協力しあって努力することが大切と言えます。そこで、医療を受けるにあたって、どのような心構えが必要か一緒に考えたいと思えます。</p>
7月23日(水)	19:30 ～ 21:00	<p>黒潮の恵みって本当？～海の砂漠とよばれる黒潮の正体～ 深見 公雄</p> <p>黒潮は世界最大の海流の一つであり、カツオなど多くの恵みを高知県にもたらしています。しかし、黒潮の恵みは海の幸に限りません。黒潮による温暖な気候は豊富な降水をもたらすため、山地には森林が発達し、四万十川など高知県下の河川は水量豊富で、里の農作物をうるおし森林からの豊富な栄養を沿岸海域に供給し、沿岸域の生物をはぐくんでいます。つまり、黒潮の恵みは、海の幸・山の幸・里の幸にも及んでいるのです。しかしその一方で、黒潮が「海の砂漠」と呼ばれるほど栄養の乏しい不毛の海であることは、意外と知られていません。本講義では、黒潮の正体やその影響について理解してもらうために、なぜそのような「不毛の海」が多くの恵みをもたらすのかについて科学的に解説し、皆さんに「黒潮通」になっていただこうと思えます。</p>
7月30日(水)	19:30 ～ 21:00	<p>津波の化石から過去の南海地震を探る 松岡 裕美</p> <p>今後30年間に南海地震の発生する確率は50%といわれていますが、どうしてそのようなことがわかるのでしょうか？その大きな根拠は古文書などの歴史記録に残された過去の南海地震の記録です。人間の一生に比べて長い間隔で繰り返し発生する地震を理解するためには、現在の最新鋭の観測機器を用いた研究だけでなく、過去の地震を詳しく調べる必要があります。南海地震は世界で最も歴史に残されている地震のひとつですが、さらに歴史記録よりも古い時代の南海地震は、地層の中に残された地震や津波の痕跡、つまり「化石」を調べることによって知ることができます。</p> <p>今回は高知県周辺の地層の中に残された津波の「化石」から明らかになった、過去数千年間の南海地震の歴史についてお話したいと思います。</p>
	21:00 ～ 21:15	閉 講 式 (修了証書授与)